

まち灯りイベント開催!

夜を明るく 彩ります!



福よ来い来い、鬼は外!



第1号
2016 2 3
新聞部速報
編集
長崎工業新聞部

二月一日から三日にかけて、長崎市寺町通りで開催されている市主催のまちあかりのイベント。今年で五年目となるこのイベントには、昨年引き続き長工のA3の生徒が作った竹灯籠が飾られています。

一月三十一日に諏訪小学校前まちぶら広場で行われた設置作業。建築研究部を中心に、竹灯籠が気になってA3の生徒と我々新聞部も取材を兼ねて設置作業の手伝いに参

寺町通りにも

竹灯籠は寺町通りにある皓台寺、長照寺、延命寺、興福寺の門にも。この作

工夫を凝らして



さまざまな建築研究部の作品

新聞部も ボランティア参加

私たち新聞部に任せられた仕事はA3の作品の周りの装飾。試行錯誤の末長工のシンボルであるNKマークを作りました。大変な作業でしたが、良い経験になりました。



手伝っている様子

知豆知識

節分の行事といえば「豆まき」。

なぜ豆で鬼が被えるのか皆さんは知っていますか。豆という字は「魔目」と書くことも出来ます。昔は鬼を魔と表し「魔目



豆知識を教えて頂いた
岩永梅寿軒の方

を射る」ことで鬼を追い払っていたそうです。そこから「豆を炒る」となり、炒った豆を蒔くようになりました。また、ぜんざいを食べる習慣も言い伝えがあります。ぜんざいは赤い豆である小豆を使います。それは魔を打ち消す事のできる太陽の色からきているそうです。節分の習慣は古くからあり、今もその習慣が残っています。ぜひ皆さんも地域の節分行事に参加してみましょ

編集 後記

長工の作品以外にも地域の方々作品も多くあり、三日間限りの竹灯籠の作品です。竹灯籠の明かりはとも幻想的で心癒されます。また、地域の方々がぜんざいをふるまってくださっているそうです。是非皆さんも行って下さい。

まちあかりイベントの詳細は「工業っ子」をお楽しみに。

配置も考えています



